

4 生産額の産業別特化係数

産業別の生産額を特化係数で見ると、全国水準を上回っているのは、鉱業、電力・ガス・水道、製造業、不動産、建設となっている。

平成 23 年の生産額を特化係数で見ると、鉱業、電力・ガス・水道、製造業、不動産、建設が 1 を上回っており、製造業の中では、非鉄金属、生産用機械、金属製品、化学製品、電子部品が大きい。

一方、情報通信、運輸・郵便、商業、金融・保険などの第 3 次産業の特化係数は小さい。

全国と同様、本県でも産業のサービス化の進行がみられるものの、全国との比較では製造業等の第 2 次産業のウエイトが大きいことを示すものとなっている。

特化係数

地域分析において、産業構造がどの分野に偏っているかを表すもので、全国との比較を行う場合によく使われる。ここでは、富山県の各産業の構成比を、全国の構成比で除したものである。

係数が大きいほど、その産業に特化しているといえる。

表1 産業別特化係数

(全国水準=1)

	平成17年	平成23年		平成17年	平成23年		
01 農林水産業	0.86	0.85	電子部品	1.98	2.02		
02 鉱業	3.00	3.00		電気機械	0.28	0.25	
03 製造業	1.37	1.31		情報・通信機器	0.06	0.07	
	飲食料品	0.44		0.46	輸送機械	0.20	0.20
	繊維製品	1.29		1.08	その他の製造工業製品	0.97	1.18
	パルプ・紙・木製品	1.67	1.45	事務用品	0.80	0.60	
	化学製品	1.60	2.06	04 建設	1.05	1.16	
	石油・石炭製品	0.67	0.03	05 電力・ガス・水道	1.38	1.33	
	プラスチック・ゴム	1.18	1.04	06 商業	0.71	0.73	
	窯業・土石製品	0.91	1.05	07 金融・保険	0.86	0.85	
	鉄鋼	0.57	0.57	08 不動産	1.04	1.28	
	非鉄金属	5.67	4.13	09 運輸・郵便	0.65	0.73	
	金属製品	2.44	2.26	10 情報通信	0.40	0.47	
はん用機械	0.91	0.94	11 公務	0.95	0.79		
生産用機械	1.71	2.38	12 サービス	0.79	0.78		
業務用機械	0.15	0.36	13 分類不明	1.25	1.00		
			産業計	1.00	1.00		

注：製造業の内訳は37部門表による

図1 産業別特化係数

(全国水準=1)

